



〒630-8115 奈良市大宮町1-1-32
奈良交通第3ビル3F

TEL: 0742-25-3100

FAX: 0742-25-3101

HP <https://www.naras.johas.go.jp>

Eメール info@naras.johas.go.jp

Vol. 49 2022年 春号

かわら版

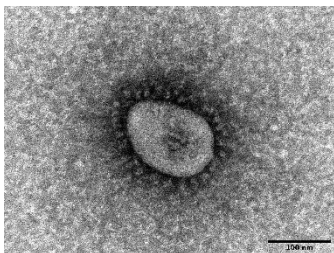
新型コロナウイルス感染症の現状と展望

奈良県医師会会長 安東 範明
(奈良産業保健総合支援センター 所長)

昨年(2021年)は新型コロナウイルス感染症対策に奔走した一年でした。しかし奈良県民の一致団結した努力の成果によって、11月に入ると新規感染者の発生が大幅な減少に転じ、12月には新型コロナウイルスの新規感染者数は連日一桁か0となりました。日本全体では新型コロナワクチン接種の開始は欧米の諸外国に遅れましたが、ワクチン供給の停滞が解けた後は2回接種完了者が急速かつ直線的に増加し、ついには諸外国を追い越し約80%に達しました。諸外国に比べると接種後間がない国民が多かったため集団免疫の状態になったことが、この第5波終了後の大幅な新規感染者数減少の主因だったと思われる。久しぶりに賑わいが戻った街を歩くと、ほぼすべての方がマスクをしていて、そのほとんどが不織布マスクです。また商店や飲食店などの店先には例外なく手指消毒液と体温計が設置されています。ワクチン接種に加えて、この国民が一致団結した「凡事徹底」が世界を驚かせた感染者減少という成果に結びついたのでしょうか。



新型コロナウイルス
(オミクロン系統)



出典: 国立感染症研究所 HP

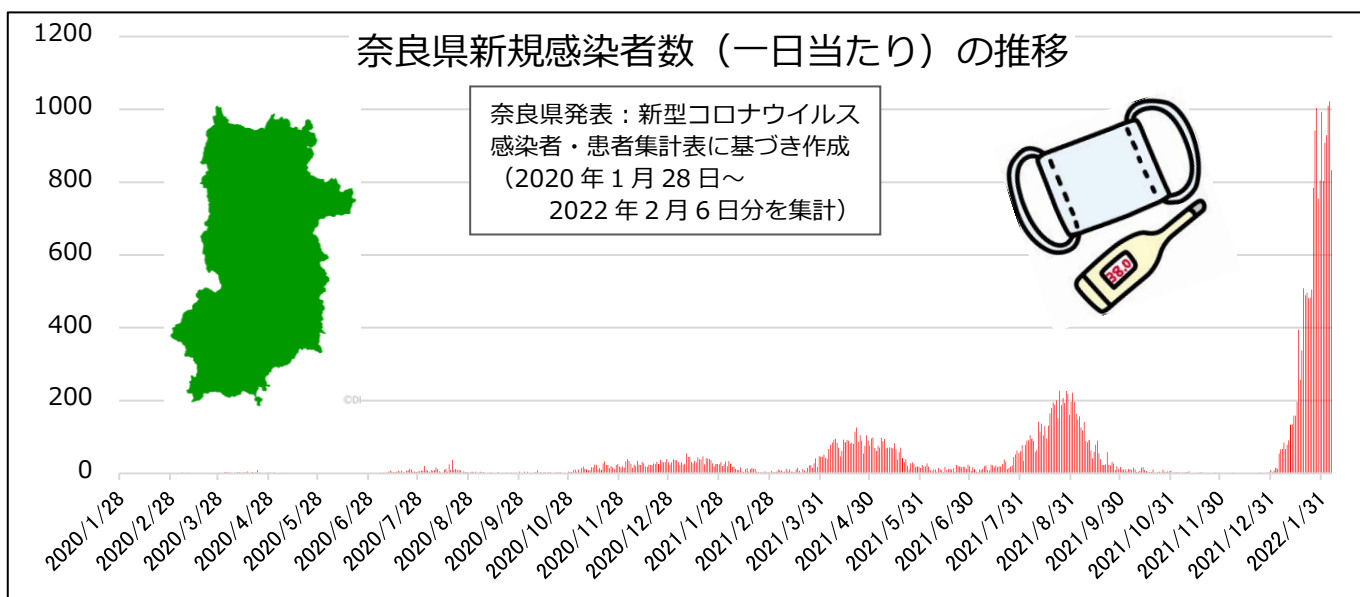
およそ1年6か月前、2020年の6月に奈良県は全国に約3か月先行して「発熱外来認定制度」を開始しました。発熱外来認定医療機関は順調に増え続け、今年1月には奈良県医師会員の診療所を中心に389医療機関に達しました。発熱外来では核酸検出検査や抗原定量検査、抗原定性検査が精力的に行われ、地域の身近な診療所で新型コロナやインフルエンザの診断が可能な体制が整っています。

昨年夏の第5波は巨大な波として私達に襲い掛かりました。病床や宿泊療養室、保健所が逼迫し、自宅療養者が急増しました。奈良県医師会は一致団結し、昨年9月16日に、自宅療養者の命を守り保健所の逼迫を助ける「自宅療養者の往診、電話診療、オンライン診療のシステム」を立ち上げ、249の会員医療機関と、県薬剤師会所属の259薬局で自

宅療養者の診療体制を整えました。さらにこのシステムを応用することで、11月1日に宿泊療養施設に入所中の患者へかかりつけ医から薬を処方する体制を整えました。これはいずれ第5波を上回る規模の第6波が来ることを予想し、多くの感染者を自宅で治療することを想定した備えでもありました。

政府は11月12日に、これから全国で整えるべき体制として「次の感染拡大に向けた安心確保のための取り組みの全体像について」を示しましたが、「自宅・宿泊療養者への対応」の部分についてはまさしく奈良県の状態と一致しており、奈良県医師会はずでに全国に先行して国が目指す体制を整えていたことになりました。

奈良県のワクチン2回接種完了率は最終的に全国平均を超え近畿2府4県のトップに躍り出ました。これは奈良県各地区医師会の努力の賜物であり、奈良県の医師会員が個別接種に加えて集団接種会場などへも出務し、その底力を示したものと考えられます。今年1月から新型コロナワクチンの3回目接種、すなわちブースター接種が急ピッチで進められています。奈良県医師会は引き続きこのブースター接種を全力で推進していきます。そして待望の新型コロナウイルス感染症経口治療薬「ラゲブリオ®」が使用可能となり、高齢者や基礎疾患を持つ重症化リスクのある患者に処方が始まっています。これらによって予防、検査、治療を身近な奈良県医師会員の診療所などで行う体制が整いました。



今年に入り、感染力がけた外れに強い「オミクロン株」の流行で、奈良県においても新規感染者数が急拡大しています。しかしオミクロン株の病原性は低く重症化率も低いことがわかってきています。正しく恐れて、今回は入院病床などが逼迫しない限り社会経済活動はできるだけ維持して克服していきたいと考えています。そのためには県民一人一人が正しく恐れ、常識を持った活動が必要です。基本的感染防止対策は今までと変わりません。新型コロナウイルスの第6波は波を被るのではなく皆で一致団結して波に乗って克服できるよう頑張りましょう。

「実効再生産数」とは感染症が流行している集団において、ある時点で、一人の感染者から二次感染する人数の平均値です。再生産数が1を上回ると流行は拡大し、1を下回ると感染者数が減少し収束に向かいます。奈良県の1月22日時点の実効再生産数は2.04です。実効再生産数

が2の場合、1人の患者が2人に、2人の患者が4人とネズミ算的に新規感染者数は増加していきます。「実効再生産数：感染確率×接触率×感染性期間」の関係があります。「感染性期間」はウイルスに固有の値ですので実行再生産数を下げるためには「感染確率」と「接触率」を下げる努力が必要です。「感染確率」を下げるためにはソーシャル（フィジカル）・ディスタンス、咳

感染拡大防止への ご協力をお願いいたします

ワクチン接種後も引き続き感染対策にご協力ください。

感染対策へのご協力、ありがとうございます。

オミクロン株については感染拡大の速度が非常に速く、現在、全国的に新規感染者が増加しております。オミクロン株に対しても基本的な感染対策が有効です。ワクチン未接種の方は接種について検討をお願いします。

ワクチンを接種していても感染するブレークスルー感染によって誰かに感染させてしまうケースも発生しています。**高齢者や基礎疾患のある方が感染すれば重症化するリスクも高まります。**

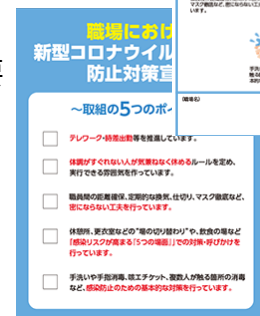
ワクチン接種後も「マスクの着用」や「手洗い」、「3密（密接・密集・密閉）回避」、「換気」など基本的な感染対策を徹底しましょう。また、**体調不良時は外出や移動を控える**など感染拡大防止にご協力をお願いします。1人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。



【出典：厚生労働省ホームページ】

エチケット（不織布マスク）、こまめな手洗い、徹底した換気などの対策が有効です。また、「接触率」を下げるために、例えば人と人との接触機会の8割削減などの社会経済的に自粛要請をしないのならば、3密（密閉・密集・密接）を避ける、事業所としては毎日体温計測し発熱や風邪症状の場合出勤させないなどの対策を徹底することが重要です。すなわち今後も、平凡なことを非凡に徹底して続ける「凡事徹底」が、第6波を克服するために重要です。皆の努力でできるだけ波のピークを抑えてこの期間を過ごしていけば、感染症の広がりや時間の経過とともに免疫を持つ人が増え、感染する可能性のある人の数は減っていきます。結果として実行再生産数は感染の広がりとともに低下し、感染は収束に向かいます。

2000年代から2010年代、アジアの国々がSARSやMERSの対策に奔走している最中に、日本では保健所の統合や感染症対策を担当する保健師が削減されました。また地域医療構想の名のもとに急性期病床の削減が進められました。病床の機能分化と連携によって効率的な医療提供体制を目指すとした地域医療構想は、コロナ禍でその問題点が露呈し再検討の必要があ



【出典：
内閣官房
ホーム
ページ】

ります。今後は2024年度からの第8次医療計画作成に向けた準備が本格化します。5疾病5事業は「新興感染症等の感染拡大時における医療」が加わり5疾病6事業になります。「平時」から「有事」に備えた医療提供体制の確立が必須です。感染拡大時に対応できる医療機関、病床の拡充や専門人材の育成が急務です。奈良県において、重点医療機関のどこかに専門のユニットを設け、感染症拡大時には多くの重症患者に対応できる病床と設備を整えたうえで、平時は専門人材の育成センターに活用し、感染拡大期には訓練された医療スタッフをそこに集めて対応することが考えられます。これは震災や水害など大規模災害時にも活用できる事でしょう。



新興感染症対策に加え、医師をはじめとする医療従事者の働き方改革、医師偏在対策、病床機能の自主的な収斂、外来医療機能の分化・連携や医療のIT化など検討課題が山積しています。奈良県の医療をさらに向上させるためこれらの課題に着実に取り組み、奈良県医師会現執行部のテーマである「チャレンジ！発信！」を継続していく所存です。今後も奈良県医師会にご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

2022年3月 “研修会受付システム”スタート

研修会のお申し込み方法が変わります！

奈良産業保健総合支援センターでは、令和4年3月1日（予定）からホームページ内に「**研修会受付システム**」を開設し、運用を開始します。

新たな「研修会受付システム」は、**研修会の受講申し込みをホームページから受け付けるシステムで、**今後は**ファックスでの受付は廃止**させていただきます。

このホームページからの受付開始となる研修会は、令和4年4月以降に開催を予定している研修会（経過措置的に令和3年3月開催予定の研修会も含まれます。）が対象となります。

ただ、産業医学研修会（産業医等を対象とする研修会）の受講受付については、当面、ファックス受付も存続しますが、令和4年度中の早い時期でのシステム受付への全面移行を予定していますので、今後は、産業医学研修の受講申し込みをされる場合においてもできる限り「研修会受付システム」をご利用されての申し込みをお願いします。

■ 研修会受付システム

URL : <https://naras.johas.go.jp/naraid/>



ファックス



パソコン
スマートフォン
タブレット等



〒630-8115 奈良市大宮町1丁目1番32号 奈良交通第3ビル3階
独立行政法人労働者健康安全機構 奈良産業保健総合支援センター
電話：0742-25-3100 F A X：0742-25-3101

URL:<https://www.naras.johas.go.jp> Eメール：info@naras.johas.go.jp